

科学技術コミュニケーション推進事業先進的 science 館連携型
平成 23 年度採択企画
最終ヒアリング結果報告書

1. 企画名 ゆりかごから科学を一幼少期からの体験に基づいた科学的な好奇心育成の基盤構築と実践

2. 提案機関 兵庫県立人と自然の博物館

3. 企画の概要

「ゆりかごから老後まで」のトータルな生涯学習支援と科学コミュニケーションの促進を目指し、保育士などを人材育成対象としたネットワーク構築と未就学期における発育や好奇心の喚起に関わる学習コンテンツの開発・実践を推進する。これにより幼少時から科学的な好奇心を育み、その後の小・中・高等学校での学習基盤構築や、親子での学習機会を創出する。また、科学的関心が低下しがちな世代や科学に対する関心が低い方へは、先端科学技術を用いてさまざまなスケールで自然を見る体験プログラムや先端科学技術へ応用されている自然素材やその機能に触れるといったプログラムを通じ、科学への興味や好奇心を引き出す。これらのプログラム開発および実践は、他機関と連携して広く実施し、普及展開を行う。

4. 最終ヒアリング結果総合所見

計画は達成され、科学館を拠点とした地域ネットワークの定着・継続・発展が期待できる。当初の計画に基づく各種事業を適正に進められたことは評価できる。さらに、幼少期の科学的な好奇心を育成する学習プログラムの開発や親子プログラムの洗練化、それをパッケージ化するように進めていることは評価できる。自然史系の博物館のみならず、児童館などに展開できるようにしてほしい。また、参加した子供の感想を絵など通じて収集し、効果について確認した点や、アンケートを実施し、その分析を行い、見える化したところ、次の展開につなげていく姿勢も評価できる。

今後、東日本大震災支援を目的として行っている「こども☆ひかりプロジェクト」活動も継続し連動してほしい。他の組織・博物館等とのネットワークが広がり、特に本支援による採択 4 館で連携が深まったことは強みであり発展的な活動に期待したい。

以上